公益社団法人出雲市シルバー人材センター　　令和8年4月1日

熱中症のおそれがある場合の応急対応

【緊急連絡先】

①救急（119）

②シルバー事務局

平日昼間　0853-24-1787

③平日夜間・土日祝日

管理課長 080-8240-2707

業務課長 080-1938-6382

④家族・親戚・知人

（各自で記入）

①熱中症のおそれのある会員を発見
②自覚症状のある会員

熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】
ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣 等

【自覚症状】
めまい、筋肉痛、筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温 等

↓

作業離脱・身体冷却

↓

「意識の有無」だけで判断するのではなく、
①返事がおかしい
②ぼーっとしている
など、普段と様子がおかしい場合も異常等ありとして取り扱うことが適当。
判断に迷う場合は、安易な判断は避け、＃7119等を活用するなど専門機関や医療機関に相談し専門家の指示を仰ぐこと。

意識の異常等

異常等あり → **救急隊要請**

異常等なし → **自力での水分摂取**

できない → 医療機関への搬送

できる → 経過観察

医療機関までの搬送の間や経過観察中は、一人にしない。

※単独作業の場合は
常に連絡できる状態を維持する

医療機関への搬送 → 回復

経過観察 → 回復

経過観察 → 回復しない、症状悪化 → **医療機関への搬送**

回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、連絡体制や体調急変等の対応をあらかじめ確認しておきましょう。